

新理事長あいさつ



長谷川公一 新理事長

木村修一理事長のあとを受けて、理事長職をお引き受けすることになりました。大変な重責で、足がすくむ思いがいたします。若輩ですが、会員の皆様の協力を得まして、14

年間の MELON の歴史を継承し、さらに発展させてまいりたいと願っております。

日本全国に環境 NGO は少なくありませんが、MELON は、皆様もご承知のように、(1) 農協、漁協、森林組合、みやぎ生協、日専連を母体としているという点において、(2) 地域の環境問題全般を扱うという点において、(3) 行政機関から人的にも財政的にも独立しているという点において、全国的にみても大変ユニークで稀有な環境

NGO です。早期に財団法人として組織を整えた点も特筆されるべきことです。

理事の 1 人として、私もこれらの点を頭では理解しておりました。しかしそのことの意義や重み、有難みを、ストップ温暖化センターみやぎのセンター長として、昨年 7 月から、都道府県地球温暖化防止活動推進センター連絡会の代表幹事を引き受けるようになって、各地のセンターと交流を深める中で、折々に、一層痛感するようになりました。

丸い大きな MELON の実は、宮城県の地域の宝物、財産です。一緒に力を合わせて、さらに大きな丸い実を育てまいりましょう。いろいろなご意見、ご批判、注文、ご提言などを遠慮なくお寄せください。会員の皆様の「輪」こそが、MELON の最大の力です。

理事・監事名簿

2007.7.9

顧問	木村修一（東北大学名誉教授）	監事	小野塚一郎（東北大学生生活協同組合理事会室長）
顧問	駒口盛（前宮城県農業協同組合中央会会長理事）	監事	佐藤良弘（個人）
顧問	西條典雄（元みやぎ生活協同組合理事長）	監事	矢吹真理子（個人）
理事長	長谷川公一（東北大学大学院文学研究科教授）	理事	佐々木陽悦（宮城県認定エコファーマー）
副理事長	木村敏男（宮城県森林組合連合会代表理事専務）	理事	高橋春男（弁護士）
副理事長	木村春雄（宮城県農業協同組合中央会会長）	理事	千葉千津子（みやぎ生活協同組合地域代表理事）
副理事長	芳賀唯史（みやぎ生活協同組合理事長）	理事	徳田昌則（東北大学名誉教授）
副理事長	平塚捷幸（宮城県漁業協同組合理事）	理事	西川善久（河北新報社取締役編集局長）
副理事長	湯目一潔（協同組合日専連仙台理事長）	理事	広瀬忍（株式会社菱食東北支社 総務・経理部長）
理事	阿部博秀（株式会社リブネット東北専務取締役）	理事	深野稔生（株式会社深野プロ代表取締役会長）
理事	荒井美佐子（個人）	理事	藤田紀子（弁護士）
理事	石垣政裕（NPO 法人劇団仙台小劇場演出家）	理事	冬木勝仁（東北大学生生活協同組合常任理事）
理事	遠藤智栄（プランナー・NPO アドバイザー）	理事	北條祥子（尚絅学院大学教授）
理事	門田陽子（個人）	理事	松沢夫佐子（協同組合日専連仙台婦人会会長）
理事	呉地正行（日本雁を保護する会会長）	理事	三上泰（日本科学者会議宮城支部常任幹事会議長）
理事	郷家智道（宮城県保険医協会会長）	理事	村松淳司（東北大学多元物質科学研究所教授）
理事	小金澤孝昭（宮城教育大学教授）	理事	渡辺祥音（JA みやぎ女性組織協議会会長）
理事	櫻井常矢（高崎経済大学准教授）		

大盛況 第 12 回 MELON 会員と市民のつどい



6月16日(土)、せんだいメディアテークにて「MELON 会員と市民のつどい」を開催しました。維持会員総会では、1年間の活動をまとめたビデオを上映するなど、一般参加の方にもわかりやすい内容となるよう工夫しました。記念講演では用意した150席がほぼ満席となり、親子連れにも気軽に参加してもらいたいと会場内で催した企画も大人気で、会場はたくさんの人でにぎわいました。

記念講演「杜の都と温暖化～どうなっているの？教えて斎藤さん！～」

天気予報でおなじみの気象予報士の斎藤恭紀さんが地球温暖化や、仙台の気候について講義してくれました。時折クイズを交えながらの楽しく分かりやすいお話に、会場のほとんどを埋めた来場者が熱心に聞き入っていました。

今年の梅雨はどうなるの？斎藤さんの予報では、空梅雨で梅雨明けは早くなるとのこと。そして、夏はかなり暑くなって秋には台風が多く発生するそうです。「それは実は遠い南米沖のラニーニャ現象の影響で…」と仙台の気象から地球全体の気候の話へと繋がっていきました。

では、市内で涼しい場所は？答えは西公園。船形連峰から降りてくる冷たい風が広瀬川の上を流れてきて、西公園一体を涼しくしているのです。ケヤキ並木の青葉通りは木陰で涼しそうだけど、実は市内で一番熱い場所です。これはビルや車などからの廃熱などによるヒートアイ



ホワイトボードに図を書きながら説明する斎藤さん

ランド現象が原因なのだそうです。「杜の都・仙台」は公園が多く植物がたくさんあるようですが、一人当たりの公園面積は政令指定都市では第4位と、多くありません。

地球温暖化は私たちの周りでもわかるほど進んでいて、北海道でも美味しいお米が栽培できるようになり、美味しいブドウの産地が山梨県から涼しい長野県へと移ってしまいました。このままだと、仙台市の気候は今の鹿児島市と同じ位になってしまうかもしれません

では、地球温暖化を防ぐための斎藤さんの提案は？それは家族団欒^{だんらん}をすること。冷暖房を入れた一つの部屋に家族みんなが集まれば、電気代の節約になってCO₂の排出量が少なくなつて、家族のコミュニケーションがとれる、地球にも家族にもやさしい方法です。

Report 菊池恵美 (MELON 会員)



楽しそうにクイズに答える参加者